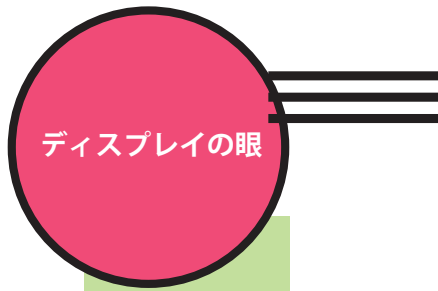


ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し
技術を磨き
ディスプレイを通じて
社会に貢献する

CONTENTS

ディスプレイの眼 次世代との「接点の場」	・ ・ 1
第 54 回通常総会開催	・ ・ 2
役員就任のご挨拶	・ ・ 3
第 48 回 親善野球大会	・ ・ 4
Next HERO わが社の新人紹介	・ ・ 6
東京デザイン巡り 月島	・ ・ 8
お年玉企画当選者の声 クルージング体験報告	・ ・ 10
青年懇話会活動報告	・ ・ 12
新入社員教育研修 ビジネスマナー編	・ ・ 13
新入社員教育研修 業界編 & 交流会	・ ・ 14
暑中見舞い名刺広告	・ ・ 16
表紙コンテスト開催案内	・ ・ 19
新規加入組合員紹介	・ ・ 20
編集後記	・ ・ 20



ディスプレイの眼

次世代との「接点の場」

「ディスプレイ」と言って、よく聞かれるのは「モニター?」「ショーウィンドウ?」
確かに、ショーウィンドウ・ディスプレイもやりますが、モニターではない。領域が
広い私たちの仕事を一般のみなさんに説明するのはなかなか難しいですね。

昨年の夏、東日本大震災復興支援の一環で宮城県石巻市の中高生と、ワーク
ショップを実施しました。初対面の日、弊社の実績を写真を交え紹介し、職種や
業務フローを、できるだけわかりやすい言葉で丁寧に伝えました。続けて、アウト
プットのカタチとして一カ月かけて「空間づくり」にチャレンジしました。

彼らが考えたのは、石巻で100年続く夏祭り「川開き祭り」で、観光客や地元の
方々に、祭りの思い出として記念撮影ができるフォトスポットでした。
「北上川と海の街をイメージする水色の風船のトンネルで空間を作りたい!」
「お世話になっている街の人やお店を取材して石巻の魅力を発信したい!」
「若い人に川開き祭りの事を知ってもらふ展示が必要!」
「光が点滅する空間で記念撮影できたらいいな!」
主体的に考え、飛び交う中高生のアイデアに、サポートする私たちも驚きました。

完成した空間は、「北上川と海の街=水」をイメージして青・水色・白の風船約
300個を天井から吊るし全体をLEDで照らしました。灯りの下、お気に入りのポー
ズで記念写真をパチリ。上は90歳、下はヨチヨチ歩きのお子さんまで幅広い世
代が参加して楽しんでいただきました。また、中高生が石巻の魅力と人の温かさ
を知ってほしいと取材した内容を、映像や冊子にまとめ来場者に説明、配布しま
した。

参加した中高生の感想は
「石巻の魅力や良さを伝えたいと思いながら何もできずモヤモヤしていました」
「想いをカタチに変える大きな一歩となりました」
「何か生み出していくのが楽しかった」

中高生の想いがカタチとなっていく過程を実体験してもらい、「ディスプレイ」
や「空間作り」の楽しさも感じて、興味をもってもらい、そして近い将来、この業界
に入ってきてくれる、このような次世代との「接点の場」が重要だと感じたワーク
ショップでした。

広報委員 浅野 敦司 / (株)乃村工藝社



表紙デザイン
野村正路 /
株式会社シミズオクト

ディスプレイ(サイン)に形は無限
に有ることを表現致しました。